

2年1組 英語活動学習指導案

公開3

場 所：南舎2階 2年1組教室
学 級：2年1組 35名
授業者：安池 知子

1 単元名 色や形であそぼう

2 単元について

単元目標

自分の好きな模様のついたマスクやトートバッグを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。

【単元の概要と学習指導要領との関連】

第3学年及び第4学年の外国語活動の目標(2)話すこと〔やり取り〕イ「自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。」を受けての学習内容となる。本単元では、前単元で学習した色に形を加え、色と形に親しませる単元である。

色については、外来語として身近になっているものもあるが、形は star、heart 以外あまりなじみがないと思われる。triangle であっても、音楽の楽器として日常的に使っている語ではあるが、発音がかなり違うために triangle と気付かないことも考えられる。外来語として日本に入ってきた言葉の発音の違いに触れることで言語についての理解を深めつつ、活動を通して十分に発音したり耳にしたりする時間をとって外国語の音声に慣れ親しむことも大切にしていきたい。また、「What ～？」の～の部分をかえるだけで、欲しい色や形を尋ねられることに気付き、他のものも尋ねてみたいという意欲につなげたい。

物のやり取りがあって相手に通じたかどうか分かりやすいことや、より実際に近い状況にすることを考えて、買い物ごっこを取り入れて、楽しく自然に対話活動ができるようにしたいと考えた。(なお、本校低学年では、年間10時間程度の英語活動を教育課程外の時間に行っている。)

3 児童の実態

9月のアンケートでは、英語活動を楽しい、まあ楽しいと答えた児童が32名、楽しくない・どちらかという楽しくないと答えた児童が3名であった。また、学校でやっている英語の勉強でどのくらいできているかという問いには、できていないことが多い・ほとんどできていないと答えた児童が3名いた。低学年のこの時期に楽しくないと感じている児童がいることはとてもショックであった。「難しい」「うまく言えない」からと答えた児童がおり、それは、きちんと言いたい、上手になりたいという気持ちの表れだと考えた。少しくらい間違えても平気であることや、正しく言うことよりも相手に自分の気持ちや言いたいことを伝えることが大事であることを話すようにしてきた。また、「楽しいな」「もっとできるようになりたいな」と思えるような活動を仕組むことが大切だと考える。本時では、自分の好きな模様が作れたことは、相手に確かに伝わった証拠であると価値付け、児童の達成感につなげたい。また、四角形の言い方が難しいと予想される。形の絵を指し示すことで伝えたり、仲間に教えてもらったりして伝わったという思いをもてるようにしていきたい。

相手に間違いのないように品物を渡すためにも相手の欲しいものを確認することや、相手の目を見てにこやかに話すなど相手意識を大切にしたい。品物を集めることのみ集中するのではなく、聞き取りやすい声で話したり、指し示したりしながら、相手を意識してわかりやすく伝え、聞き手はうなずくなどの反応を返して聞こうとするなど、コミュニケーションの楽しさが味わえるよう、伝えよう、聞こうとしている態度を価値付け支援していきたい。

4 研究内容にかかわって

研究内容1：付けたい力を明確にした単元構成の在り方

単元で付ける力の明確化とその具現に向けた指導計画の工夫

単元構成を考える際に考えたことは、学習過程として、①児童が設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する、②目的に応じて情報を発信するまでの見通しをもてるようにする、③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う、④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う、といった流れにすることである。

本単元では、①として、単元の始めに、教師による単元終末の活動を提示することで、児童がそのやり取りの目的や場面、状況を理解し、「自分たちもやってみたい」という意欲がもてるようにする。②として、終末の活動のために必要と思われる語句や基本的な表現を様々な活動を通して学習していく。③については、単元の終末の活動として、自分の好きな模様を作るために、自分の欲しい形や色を尋ねたり答えたりする。④については、単元最後の自己評価による振り返りを行い、仲間とのやり取りを通して感じたことや自分の姿の変容を記録したり、発表したりしていく。

研究内容2：主体的・対話的な学びを通して、確かな力を身に付ける指導・援助の工夫

(1) コミュニケーションの目的や場面、状況の具体的な設定の工夫

主体的・対話的な学習が進むためには、言葉のやり取りだけに終始するのではなく、場面設定をし、意味のあるやり取りを通して互いの心を通わすことの大切さや楽しさを実感できるようにすることが大切であると考え。そこで、買い物ごっこの形態を作り、かばんやマスクの模様を作るという目的意識をもって、いろいろな色の形を集める活動をスクランブルで行う。

また、その際には、相手意識をもって、聞き取りやすい声で言う、ゆっくり話す、動作を交えるなどの態度を認めていく。

(2) 主体的にコミュニケーションを図ろうとする学習過程の工夫

やり取りをしていく中で、困ったこと、どう言えばよいかわからなかったことなどを交流・確認したり、仲間のよい姿や表現から学ぶ share time を適宜設け、よさを取り入れて対話をしたりする姿を認めていく。

また、自分の欲しい形を集める際に、3種類以上の形を集めることや、同じ仲間との交流は1回のみとすることなどの約束を設け、より多くの仲間と対話できるようにする。また、自分の好きな模様が一つできたら、違う物の模様を考えたり、家族のための物の模様を考えたりするなど二つ目の模様に取り組みせ、時間いっぱい活動できるようにする。

研究内容3：自分の変容が自覚できる評価の在り方

相手に「伝わった」、相手のことが「わかった」と実感し、伸びや変容を自覚できる評価の工夫

出来上がった模様を見せ合うことで、仲間や自分の頑張りを認め、伝え合うことができたと感じられるようにする。また、仲間の考えに触れ、新しい発見をし、自分の考えを広げたり深めたりしていくことを期待している。

本時の課題は「相手に伝わるように工夫しながら話し、自分の好きな模様を作ろう」である。本時大切にしたい「相手に伝わるような工夫」は、「確認する」「ゆっくり、はっきり話す」ことと考えた。それを踏まえて、本時の振り返りシートには、以下の項目を用いる。

- ① 作りたい模様を作ることができたか。
- ② 相手に伝わるように、確認しながら話すことができたか。
- ③ 相手に伝わるように、ゆっくり・はっきり話すことができたか。
- ④ 単元を通して、できるようになったことや思ったことは何か。

5 単元指導計画 (全3時間)

〈研究内容1にかかわって〉

単元構成を考える際にまず考えることは、単元の終末でどのようなことができるようになればよいかを具体的にすることである。本単元では、自分の好きな模様を作るために、自分の欲しい形や色を尋ねたり答えたりすることを目指す。そこで、単元の導入で好きな模様を作ることを伝え、学習の見通しをもてるようにする。

評価規準に準ずるもの

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色や形について、“What shape?” “What color?” ～, (please).”を用いて欲しいものを尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	自分の好きな模様を作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	自分の好きな模様を作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

時	学習のねらい 【キーワード】	学習活動	評価規準に 準ずるもの (方法)
1	日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形を表す言い方を知る。 【shape circle, triangle, heart, square, star】	1 場面提示、課題設定 形をあらわす言い方をおぼえて、 たのしくゲームをしよう。 2 追究活動 キーワードゲーム (ペア活動) ミッシングゲーム (ペア活動) 3 振り返り	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	色や形の言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり答えたりする。 【What shape? What color? ～, please.】	1 場面提示、課題設定 自分のほしい色の形をあつめよう。 2 追究活動 買い物ごっこ (スクランブル活動) 3 振り返り	・ “What shape?” “What color?” や“～, please.”などの表現を使ってほしいものを尋ねたり答えたりしている。 【知識・技能】 (対話、プリント)
3 本時	自分の好きな模様を作るために、“What shape?” “What color?”や“～, please.”を使って、相手に伝わるように工夫しながら、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 【確認しながら・ゆっくり・はっきり】	1 場面提示、課題設定 相手に伝わるようにくふうしながら話して、形を集め、すきなもようをつくろう。 2 追究活動 買い物ごっこ (スクランブル交活動) 3 振り返り	・自分の好きな模様を作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などについて、欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 (対話、行動観察、プリント)

6 本時の展開 (3 / 3時)

<p>本時のねらい</p>	<p>自分の好きな模様を作るために、“What shape?” “What color?”や“～, please.”を使って、相手に伝わるように工夫しながら、色や形について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>本時のキーワード 確認しながら、ゆっくり・はっきり</p>													
<p>学 習 活 動</p>		<p>研究にかかわって</p>												
<p>1. Greetings 2. Song 3. Today's Topic ・クイズを振り返って、好きな模様を作るために形を集める活動への意欲を高め、色や形、数を伝えたり、尋ねたりする表現を聞いて、目指す姿を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>AB: Hello. A: What shape do you want? B: Star, please. A: Star? O.K. What color do you want? B: Yellow, please. A: Yellow star, O.K? How many? B: Two, please. A: O.K. Two yellow stars. Here you are. AB: Thank you.</p> </div> <p>4. Today's Aim</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>相手に伝わるようにくふうしながら話して、形を集め、すきなもようをつくらう。</p> </div> <p>5. Practice Time and Challenge Time</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>AB: Hello. A: What shape (do you want)? B: Star, please. A: Star? O.K. What color (do you want)? B: Yellow, please. A: Yellow star, O.K. One? Two? B: Two, please. A: O.K. Two yellow stars. Here you are. AB: Thank you.</p> </div> <p>・お店屋さんとお客さんに分かれて、自分の欲しい形を集めていき、途中で役割を交代する。 ・3つの約束を確認する。 ① 同じ仲間(店)とできるのは、1回だけ。2種類の形まで、全部で4個まで買える。 ② 空いているお店屋さんを見つけてどんどん入る。 ③ 3種類以上の形を買う。 ・仲間の良い姿や表現から学び、学級で共有する。 ・出来上がった模様を見せ合う。</p> <p>6. Comment Time ・振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・自分の欲しい色や形をはっきり伝えられて、好きな模様ができた。 ・欲しいものを確認して渡すことができた。 ・自信をもって話すことができるようになった。 ・色が前より言えるようになった。</p> </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">形</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">色</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">star</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">yellow</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">circle</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">red</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">triangle</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">blue</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">heart</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">pink</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">square</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">green</td> </tr> </table>	形	色	star	yellow	circle	red	triangle	blue	heart	pink	square	green	<p>〈研究内容2にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかある絵の中から、何に模様をつけるのか決める。 ・相手が欲しい形や色だけ聞き取るだけでなく、いくつほしいのか数を確認したり、ほしい形や色を確認したりして相手意識をもって活動できるようにする。 ・学級の半分を店側、半分をお客側に分け、前半と後半で立場を交代し、どちらの立場でも対話ができるように学習形態を工夫する。 ・3つの約束を決めてより多くの仲間と対話できるようにしたり、色や形、数の表現に慣れ親しんだりできるようにする。 ・一つの模様が完成したら、二つ目の模様を作ることとし、時間いっぱい活動できるようにする。 ・活動の途中で仲間のよい姿や表現から学ぶ場を設け、仲間の良さを取り入れて対話をするようにする。 <p>〈研究内容3にかかわって〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった模様を見せ合うことで、仲間や自分の頑張りを認め、伝え合うことができたことに気付けるようにする。 ・工夫の「確認しながら」「ゆっくり・はっきり」を視点に評価する。 ・単元を通しての振り返りをする中で、自分の変容を自覚できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準に準ずるもの</p> <p>自分の好きな模様を作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形などについて、欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 (対話・行動観察・プリント)</p> </div>
形	色													
star	yellow													
circle	red													
triangle	blue													
heart	pink													
square	green													

